平成２８年第３回東近江市教育委員会（定例会）会議録

日　時　平成２８年3月２２日（火）　午後2時００分　開会

場　所　市役所東庁舎　東Ａ会議室

出席者	教育委員長	坂田　正幸	委員長職務代理者	谷川　裕一
	教育委員	賀川　昌明	教育長	市川　純代
	教育部長	中谷　逸朗	こども未来部長	藤田　善久
	教育部次長	稲本　正行	管理監（生涯学習担当）	清水　保
	管理監（国体担当）	石井　義伸	教育総務課長	大辻　利幸
	学校教育課長	宮居　伝	学校施設課	藤田　孝司
	歴史文化振興課長	上川　喜久	歴史文化振興課博物館担当課長	徳田　嘉治
	学校給食センター所長	辻　　平	こども未来部管理監	藤原　真弓
	教育研究所長	中野　正堂	幼児施設課長	三上　俊昭
	図書館長	松野　勝治	事務局（教育総務係長）	青木　幸市

以上２０名

事務局　　開会

委員長

皆様こんにちは。教育委員会定例会を開催させていただきましたところ、大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。日ごとに暖かさを増し、桜の開花のニュースも聞かれ、いよいよ春を実感できる季節となってきました。

２月２８日には、能登川コミュニティセンターにおいて「出張なんでも鑑定団 in 東近江」が開催され、出品されました５点の鑑定価格の総額が９０２万円という高額の鑑定結果がでました。これだけの逸品が一度に出品されるのは珍しいとの司会者のコメントのとおり、市内の文化財や個人所有のお宝の多さを改めて実感しました。今回の収録は、3月２９日にびわ湖放送で放映されますので、ご覧いただきたいと思います。

春の選抜高校野球に出場している滋賀学園高等学校が、2月２０日に行われた１回戦で勝利しました。野球少年をはじめ、多くの市民に夢を与えてくれたと思います。２回戦以降の活躍を祈っています。

３月末には、各園校において卒園・卒業式が行われました。私は湖東ひばり幼児園、山上小学校、能登川中学校、滋賀学園高等学校、びわこ学院大学に出席しましたが、すべての園校で落ち着いた雰囲気の中で式が執り行われました。卒業生は緊張した面持ちでしたが、不安と希望を持ちながら卒業証書を手にしていたことと思います。これから進学、就職されますが、大きく成長されることを願っています。

広島県府中町で中学３年生の生徒が自ら命を絶つという、悲しい出来事がありました。この事案は今後第三者委員会で調査されていくことになりますが、組織的な対応に課題があっ

たことが、問題の原因の一つと考えられます。本市においては、このような問題が発生しないよう、適切な対応をお願いします。

それでは平成２８年第３回教育委員会定例会を開催いたします。最初に会議録の承認ですが、平成２８年第２回定例会の会議録が事務局からあらかじめ配布され確認していただいていると思います。会議録の内容についてご異議はございませんか。

各委員　―　異議なし　―

委員長　それでは、平成２８年第２回定例会の議事録は承認いただきました。後ほど谷川委員と後日に辻委員にご署名をお願いします。なお、今回の定例会の議事録署名は賀川委員と谷川委員を指名させていただきます。

それでは次第に従いまして、「１　報告」をお願いします。始めに、教育長から報告をお願いします。

教育長　皆様こんにちは。委員の皆様には、市立幼稚園、保育園、小中学校に加え高等学校、大学の卒園・卒業式にご臨席いただきましてありがとうございました。お気付きの点がありましたら事務局までお伝えください。また、今年度業務の完了と次年度の準備で、各学校、教育委員会ともに慌しくなっていますが、今年度の問題点を明らかにし、新年度のスタートが順調に迎えられるように準備を進めていきたいと考えています。

坂田委員長におかれましては、任期を少し残すのみとなり、定例会は本日が最後となります。明日は市長からの感謝状を贈呈させていただく予定をしています。４年間の教育委員任期中は、ご指導をいただきまして大変ありがとうございました。

３月市議会は２月２９日に開会し、３月２４日までの会期で開催されています。教育委員会に関する質問は、５議員から答弁を求められました。学校教育に関しては、「学力テスト結果の現状を踏まえた本市の今後の教育方針について」、「新年度予算における学力向上に向けての施策について」の２点について質問がありました。学力向上への取組に関しては、施策を予算化してから２年が経過し、２８年度が３年目になります。したがって、この３年間の取組の結果は２９年度の学力調査で現れることになりますので、教育委員会として積極的に学校に関わりながら、具体的な指導を強化していきたいと考えています。また、学校問題対策支援室に関しては、今までは支援室へ寄せられる相談等を中心に対応してきましたが、次年度からは支援員が各学校へ年間１回は確実に巡回を行うことを予定しています。担当者が学校に出向き、学校の雰囲気、子どもの様子等を確認していきたいと考えています。

前回の教育委員会以降の事業等についてですが、滋賀学園高等学校野球部の甲子園出場の激励会を３月８日に実施しました。３月２０日の１回戦では、相手チームが強豪で勝利は難しいのではないかという前評判を覆し勝利しました。２回戦も頑張って欲しいと思います。

３月１８日には、文化的景観保存活用委員会を開催しました。伊庭の水辺景観に関する調査を２年間継続して行っていますが、これまでの調査内容の報告をいただき、本年１０月を目処に調査結果をまとめていただく予定です。文化庁からは文化財調査官の臨席もいただき、会議を開催することができました。伊庭の水辺景観の認定については、生活の中に文化財があり、知らず知らずのうちに文化財を踏襲し、文化財が日常にあることが当たり前となっている価値観を大事にしたいと考えています。調査地区は能登川西小学校区でもあります

ので、学校などにも資料を提供し、子ども達が文化財に気付いていくことも大事にしていきたいと思います。

３月の校長会議では、次年度に向けて３点をお願いしました。１点目は、幼小中連携推進事業をより一層推進していくことです。現在、２中学校区で連携推進員を配置していますが、来年度は２名の増員を予定してします。どのような子どもを育てていくのかを地域の課題として捉え、地域と学校とが共に取り組むことが必要です。可能であれば、学区内で共通の教育目標を設定し、地域での教育を進めて欲しいと伝えました。２点目は、学校支援地域本部事業の拡大です。平成２８年度からは「地域学校協働本部」を設置する方向で国が進めており、円滑な移行を行っていきたいと考えています。次年度は、事業を１７小中学校から２２小中学校へと拡大させます。幼小中連携推進事業、学校支援地域本部事業ともに、各学校管理職のリーダーシップで推進状況が大きく変わりますので、取り組みを進めるように校長会議だけでなく、教頭会議においてもお願いしました。３点目は学校教育の充実です。学校問題対策支援室の充実に関しては、職員配置を拡充しながら支援員の全校への巡回を実施していきます。また、学力向上への取組に関しては、各種事業の実施・改善には教育委員会が積極的に関わります。そのような中で、県の小中研究会から市内の学校に研究を依頼されています。県書教育研究会は蒲生北小学校、朝桜中学校で開催されます。また、県美術教育研究会は布引小学校と未定ですがいずれかの中学校で研究会を受けることになります。研究会は、教師が力を付ける良い機会であり、このような研究会は積極的に実施すべきと考えています。

平成２８年度から滋賀県の組織改変が行われます。教育委員会関係では、学校教育課を廃止し、「高校教育課」と「幼小中教育課」の２つに再編されます。また、スポーツ健康課は教育委員会の「保健体育課」と県民生活部の「スポーツ課」に、一部が知事部局に再編されます。今後の県の動向を注視していかなければならないと考えています。３月２４日には、一般教職員、３月２５日には管理職の内示があります。以上です。

委員長　ありがとうございました。ただいまの報告についてご意見ご質問はございませんか。

各委員　―　意見・質問なし　―

委員長　質問がないようですので、続きまして教育部長から報告お願いします。

教育部長　３月市議会の代表質問、一般質問については、５議員から８項目の質問がありました。生涯学習課関係では、「本市の人権教育や啓発はどのように行われているのか」との質問があり、人権まちづくり講座、人権ふれあい市民のつどい、町別懇談会の開催、また各地区、企業、学校等対象への人権啓発の展開、人権学習冊子の全戸配布等により人権教育や啓発を行っていることを答弁しました。また、「地域を愛する若者を創出するためにどのような事業を行っているか」との質問については、やまの子キャンプにおける青年リーダー研修を年間通じて実施し、若者が集まる機会を設けていることを答弁しました。スポーツ課関係では、「スポーツを通した健康寿命の延伸のための具体的な施策、市の支援について」の質問があり、スポーツ推進委員が軽スポーツ出前講座、健康ウォーキング、体力アップ教室等を開催していることを答弁しました。市の支援については、

総合型地域スポーツクラブ、市体育協会事業等について支援を行っていることを答弁しました。生涯学習課及び歴史文化振興課に係るものでは、「本市の文化振興策及び計画策定の考えについて」の質問があり、芸術文化祭や美術展覧会の開催、文化団体への支援、博物館やコミュニティセンターでの教室・講座の開催等の多くの事業を展開していること、また、計画策定に関しては、歴史文化基本構想を策定中であることを答弁しました。「日本遺産に係る事業の財源確保策について」は、活用できる補助金であれば、省庁の枠を超えて、積極的な財源確保に努めることを答弁しました。

福祉教育こども常任委員会では、補正予算、当初予算の審査が行われ、コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定、体育施設条例の一部を改正する条例の制定について可決いただきました。以上、３月議会の概要報告とします。

委員長　ありがとうございました。続いて、こども未来部長から報告をお願いします。

こども未来部長　教育委員の皆様、教育委員会管理職の皆様には、3月１６日の幼稚園、認定こども園の卒園式にご臨席いただきありがとうございました。天候にも恵まれ、無事終了いたしました。年度末を迎え、各施設の整備を進めていますが、五個荘東幼児園整備工事は3月７日に着工することができました。また、蒲生幼児園は、工事が完了し3月２５日に竣工式を予定をしています。民間の延命保育園は園舎改築が完了し、3月１３日に竣工式が行われ、仮設のプレハブ園舎から新しい園舎に移り保育がスタートしています。４月からは認定こども園「延命こども園」として新たなスタートとなります。八日市寺幼稚園跡で実施します小規模保育事業ですが、整備工事が完了し、４月１日から定員９人で運営を開始します。４月２日には開所セレモニーと地元、保護者向けの内覧会を予定しています。ＮＰＯ法人ゆりかごネットによる小規模保育事業所「ほんわかホーム」についても改修工事が完了し、４月１日に開所式が行われ事業がスタートします。新しい施設は八日市金屋３丁目の金屋大通りの空事務所を借り受け改修いただきました。年度当初の受入人員は９人で、最終的に１１人を受け入れていただく予定です。八日市北こどもの家の施設建築が、八日市北小学校敷地内で完了しました。3月２１日に竣工イベントが開催され、ＮＰＯ法人ゆりかごネットによる運営を開始いただきます。

現在、４月時点での待機児童数を取りまとめていますが、現時点では待機数が約７０名となっており、昨年の３９人からは８０％増加したことになります。2月末時点での２号、３号認定（従来の保育園への入所希望者）は、２，４８４名で、承諾が２，２５９名、不承諾が１９６名でした。昨年に比べ承諾者数は１５０名増加していますが、入所希望者の増加により不承諾者数も５０名増加しています。昨年不承諾とした１５０名の枠を確保するため、定員を増加させましたが、昨年より入所希望が２００名増えたということで、待機児童数が減少しない状態が続いています。来年度以降も増設を検討していますが、待機児童の解消には追いついていないのが現状です。

３月議会での答弁についてですが、村田議員からは、「乳児おむつ等支給事業の人材や体制、民生委員・児童委員との連携について」の質問があり、事業は子育て世帯の経済的負担軽減と見守りによる不安解消を目的にした新規事業で、宅配員は子育て経験豊富な人材を想定しており、子育てでの悩みや困りごと等がある場合には適切に市の公共サービスが紹介できるよう事前に市の業務内容を説明し理解いただく予定であること、宅配員の数は、受託業

者の実施可能な提案を受け判断すること、宅配員による見守りから、支援が必要と判断された場合には、民生委員・児童委員と連携することを答弁しました。竹内議員からは、「子育て支援情報提供のアプリの導入の検討について」の質問があり、子育て世代が必要とする各種情報は、子育てハンドブック「ららら」にまとめており、市のホームページから広報アプリを活用することにより、専用アプリと同等の効果が見込めるとの答弁を行いました。

委員長　ありがとうございました。各部長から報告がありましたが、何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

賀川委員　待機児童に関して、入所希望が増加したため、不承諾の数も増えたとのことですが、様々な事情はあるとは思いますが、不承諾となる具体的な理由はどのようなものがありますか。

こども未来部長　入所の判定に際しては、２０点満点で採点しており、１６点以上であれば承諾となります。基準以下の点数となる場合というのは、育児休暇の延長が取得できる方、就職を希望している人で実質的な就業についていない方、フルタイム勤務ではない方等です。そのような方には、育児休暇の延長、就業時期の後送り等をお願いし、対応しています。

賀川委員　入所希望者には入所基準は開示されているのでしょうか。

こども未来部長　案内冊子の中に開示しており、配点に関しても記載しています。

委員長　ほかにご意見ご質問がなければ、続きまして「２　議案」に移ります。議案第２号「東近江市指定文化財の新指定について」担当から説明をお願いします。

歴史文化振興課長　―　資料により説明　―

委員長　この件についてご意見ご質問ありませんか。

各委員　―　意見・質問等なし　―

委員長　ご意見ご質問ないようでしたら、議案第２号はご承認いただけますでしょうか。

各委員　―　異議なし　―

委員長　それでは、議案第２号は原案通り可決といたします。
議案は以上になりますので、ほかに質問が無ければ、続きまして、「３　協議事項」に移ります。「平成２８年度東近江市教育行政基本方針」について担当から説明をお願いします。

各課課長　―　資料により説明　―

委員長　この件についてご質問ご意見はありませんか。

賀川委員　平成２８年度の主要事業概要については、教育振興基本計画の施策との関連付けは行われていますが、計画に掲げた施策をどのように実施したのか、どのように成果が出たのかが見えにくいように思います。他の自治体では、計画の具体的な項目に対して、どの事業を行い、その評価はどうなのかを記載してあるものもあります。またその施策の結果から、次の計画にどのように繋げていくのかの検討が必要です。チェックの方法を間違うと、本来実施すべき事業を取りこぼす恐れがあるのではないか考えます。

教育総務課長　教育振興基本計画の進行管理、業務評価については検討をおこなっており、２７年度事業については、６月ごろに決算が出ますので、その段階で事業の評価表を作成し、結果を検証できるように作業を進めています。

委員長　青少年育成事業の中で、土曜日の教育支援体制等構築事業が拡充となっていますが、現在の状況と今後の体制について教えてください。

管理監（生涯学習担当）　現在は、蒲生地区の「マックスクラブ」が事業補助金を受けて事業を実施しています。具体的には合唱、そろばん、陶芸等のサークル活動で、旧蒲生町から継続されているものです。他の各地においても、地域教育協議会として活動しています。

委員長　この事業は、社会教育の一環として行うものでしょうか。

管理監（生涯学習担当）　子どもの学ぶ力をはぐくむことを目的に行っています。平成２８年度からは国の補助金の項目の中に、社会教育をベースに学校教育を充実するものもできました。内容は、土曜日の教育支援体制と大きくは変わりないと思います。外国語が母語の子どもたちへの語学支援の教育もこの補助項目に含まれています。

委員長　学校の時間以外にも学びの場があることは、非常に重要なことと考えますので、積極的に進めていただきたいと思います。また、家庭教育の大切さについてですが、啓発に関しては具体的にどのような事業を行うのですか。

管理監（生涯学習担当）　ＰＴＡ、地域教育協議会、市民会議等を通じて家庭教育に係る研修を行っています。特にＰＴＡでは、家庭教育の啓発機会を多くつくっていただいています。引き続き、家庭教育啓発の推進は行っていきます。

委員長　他に質問・ご意見はございませんか。

教育総務課長　他にもお気づきの点があると思いますが、本基本方針につきましては、３月２４日開催の臨時会にて議案として審議していただこうと考えていますので、事務局までご意見、ご質問をいただきたいと考えています。その後、ご承認いただけましたら、平成２８年度の方針として決定し、学校、園等に配布を行いたいと思います。

委員長	ご意見、ご質問がありましたら、事務局までお願いします。続きまして「３　報告事項」に移ります。「福祉教育こども常任委員会案件（議会議決工事進捗状況）」を各課から報告をお願いします。
各課課長	―　資料により説明　―
委員長	この件についてご意見ご質問はありませんか
各委員	―　意見・質問等なし　―
委員長	続きまして、「東近江市立認定こども園条例施行規則等の一部改正」について、担当から説明をお願いします。
こども未来部管理監	―　資料により説明　―
委員長	この件についてご意見ご質問はありませんか。
各委員	―　意見・質問等なし　―
委員長	ご意見ご質問等無ければ報告事項は以上になります。続きまして「４　その他」に移ります。各課から報告をお願いします。
各課課長	教育研究所・・・教育研究所だより 生涯学習課・・・報告事項 歴史文化振興課　博物館Ｇｒ・・・報告事項、中路融人記念館開館 図書館・・・報告事項
委員長	各課からの報告について、ご意見ご質問ございませんでしょうか。
各委員	―　意見・質問等なし　―
委員長	全ての議案、協議、報告が終了しました。全体を通してご意見・ご質問はありませんでしょうか。
各委員	―　意見・質問等なし　―
委員長	意見がなければ、次回の定例会については４月２８日金曜日、午後２時から市役所本館３０２会議室で予定しておりますのでよろしくお願いします。このあと一旦休憩を挟みまして、引き続き「第２回教育委員会臨時会」を開催いたしますので、教育委員の皆様と関係職員は出席をお願いいたします。事務局より連絡事項をお願いします。

事務局　　―　当面の日程についての説明　―

委員長　　最後になりますが、教育委員の退任にあたり、一言お礼を申し上げます。４年間の教育委員としての教育委員会は本日が最後となりました。皆様方の支えをいただきまして、４年間勤めさせていただけましたことを厚くお礼申し上げます。今後も、益々東近江市の教育が発展していきますように、皆様のご活躍を陰ながら応援させていただきたいと思います。簡単ではありますが、お礼の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、平成２８年度第３回教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

会議終了　　午後３時５５分

会議録署名委員

会議録署名委員

委　員　長